

県政の動き

4月20日(金)～6月20日(水)

★は写真入りで紹介

4月23日(月)

★第2回山川・根占航路利用促進協議会

4月25日(水)

★かごしま遊楽館における

4月27日(金)

子ども虐待防止ネットワーク会議

4月27日(金)

「かごしまくらし」を進める活動支援事業に係る説明会

4月29日(日)

みどりの感謝祭

5月11日(金)

「看護の日」記念事業

5月13日(日)

ピンクリボン母の日キャンペーン

5月14日(月)

★県医師会との「災害時の医療救護活動に関する協定」の締結

5月14日(月)

香港向け輸出用和牛肉の出荷式

5月18日(金)

★県総合防災訓練・県下一斉防災点検

5月18日(金)

ウミガメ保護パトロール開始式

5月21日(月)

★第26回知事と語る会

5月23日(水)

★県犯罪のない安全で安心なまちづくり県民会議

5月25日(金)

自動車関連産業ネットワーク特別講演会

5月28日(月)

★県共生・協働の農村づくり運動推進協議会

6月4日(月)

★第27回知事と語る会

6月5日(火)

★大和ダム竣工式

6月5日(火)

★地球環境を守るかごしま県民運動推進大会

地球環境を守るかごしま県民運動推進大会

4月23日(月)

第2回山川・根占航路  
利用促進協議会

昨年11月から官民の協力で安定的な就航が確保された山川・根占航路について、薩摩・大隅両



半島間の地域間交流、観光、物流の活性化により利用促進を図ると、県関係市町など、19団体で構成される「山川・根占航路利用促進協議会」が開催された。



会では、利用が低迷する旅客乗用車の需要を誘発するため、同航路のPR方策やイベントの開催などを決定したほか、国の調査事業を活用して、今秋をめどに「山川・根占航路利用促進プラン」をまとめることに合意した。

4月25日(水)

かごしま遊楽館における  
「さつま地鶏」のトップセールス

本年3月からキンビールのテレビCMに鹿児島県の地鶏が取り上げられ、全国放送されたことを受け、首都



圏において「さつま地鶏」のおいしさをPRしようとして、伊藤知事がかごしま遊楽館において、さつま地鶏のトップセールスをを行った。



当日は、知事とさつま地鶏の生産者代表が、来店者にさつま地鶏の塩焼きを振る舞い、試食会も開催された。試食会には飲食店関係14社24人が参加し、さつま地鶏のコース料理を堪能しながら、PRや意見交換を行った。

5月14日(月)

### 県医師会との「災害時の医療救護活動に関する協定」の締結

5月14日、県庁において伊藤知事と米盛県医師会長が出席し、「災害時の医療救護活動に関する協定」の調印を行った。

この協定は、近年の全国的な災害の多発や、昨年4月の高速船衝突事故などを踏まえて締結したもので、災害時における県医師会に対する医療救護班の派遣要請や医療救護班の業務、費用負担などについて具体的な内容を定めている。

この協定の締結により、災害時の県医師会による医療救護活動が、より円滑に行われることが期待される。



5月18日(金)

### 県総合防災訓練・県下一斉防災点検

鹿屋市で県総合防災訓練を実施し、警察、自衛隊、消防、自主防災組織など57機関・団体、約1400人が参加した。

情報収集・伝達訓練や合同救護・救出訓練、自主防災組織による初期消火訓練のほか、昨年7月の県北部豪雨災害を教訓に、孤立化集落対策として、河川に応急的に橋を架設する訓練など、実際の災害を想定した訓練を行った。



このほか、来場者を対象とした防災研修センターによる応急救護講習、地震体験車や降雨体験車による体験型訓練も実施した。



また、県下一斉防災点検も5月8日から5月21日までの期間に県内全域で実施され、災害危険箇所那点検を行い防災意識の向上を図った。

5月21日(月)・6月4日(月)

### 第26回知事と語る会(長島町) 第27回知事と語る会(枕崎市)

第26回知事と語る会が長島町開発総合センターで開催され、約400人の方々が参加した。農林水産業の支援策など、さまざまな質問・要望があり、伊藤知事と意見を交換した。知事は語る会にあわせて、長



薄井漁港で「鱒王」の養殖について話を聞く。

島町の養殖漁業や畜産業の状況などを視察した。

また、枕崎市の(財)南薩地域地場産業振興センターで開催された第27回知事と語る会では、約250人の方々が参加し、道路や河川の整備などについて意見が交わされた。知事は語る会にあわせて、枕崎市の県立水産高校や地場産業の状況などを視察した。



水産高校で生徒と一緒に授業を受ける。



5月23日(水)

### 県犯罪のない安全で安心なまちづくり県民会議

犯罪のない安全で安心なまちづくりを推進するため、県、市町村、県民、事業者など44団体で構成する「県犯罪のない安全で安心なまちづくり県民会議」が設立され、県レベルで初めての「防犯」に関するネットワークが構築された。

会議では、「県犯罪のない安全で安心なまちづくり条例」や「防犯指針」の広報啓発のスケジュール、構成団体の今後の取組などについて、活発な意見が交わされた。



5月28日(月)

### 県共生・協働の農村づくり運動推進協議会

県が本年度から取り組む「共生協働の農村づくり運動」の円滑な推進を図るため、第1回目の

「共生・協働の農村づくり運動推進協議会」が県庁で開催された。



むらづくり活動・おはんが一番久富木大賞(さつま町久富木地区)

長である知事をはじめ、市町村や農業団体などの代表者や、むらづくりを支援するNPO法人、むらづくり実践者など19人で構成されている。

会では運動の広報・普及活動や農村集落が取り組むむらづくり活動への支援など、運動の推進計画について了承された。



むらづくり活動・ごちよう踊り(屋久町原地区)

6月5日(火)

### 大和ダム竣工式

平成2年度から奄美大島の大和村思勝地内で整備を進めてきた「大和ダム」は、昨年度工事を完了し運用に向けた試験を行ってきたが、無事終了し運用を開始したことから竣工式が行われた。

ダムの完成により、大和川の治水対策と大和村5地区(7集落)の生活用水の安定供給などが図られ、地域の浮揚発展に貢献するものと期待される。



当日の式典には、国・県・村の関係者や地元地権者、小学生など約100人が出席してテープカットや記念植樹などを行い、完成を祝った。



## 上海文化のひとつこま

在上海日本国総領事館 音野敬子



皆さん、初めまして。音野敬子と申します。鹿児島県から在上海日本国総領事館に向向して、もうやがて1年。月日がたつのは本当に早いものです。

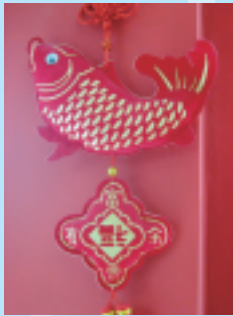


▲歴史ある建物がライトアップされた上海の夜景。

さて、今年の中国は、60年に一度のかなりおめでたい猪年(中国では金の豚年という)らしく、旧正月(2月18日)を祝うために上海の夜空に上がった数々の花火の美しさに感動。花火を上げる意味は、地上にいる人間のことを空から降りてくる神様に気つけてもらうためだとか。旧正月には、各地に散らばっていた家族が一堂に会し、経済的に楽になるようにと「余」と同音の「魚」、吉が多いようにと「吉」と同じ音の「鶏」、来年はさらにいい年であるようにと「年々高昇」の「年高」と同音の「餅」など縁起を担いだものを食べるように、子供は「紅包」と呼ばれるお年玉をもらいます。春節前の上海は、こんなに大勢の人間がどこから沸いてきたのかと思うほどの賑わいでした。それに、よく見かけたのが、お店のドアや壁に飾られている、さかさまの「福」の飾り。中国人スタッフに聞いたところ、さかさまの「福」は、「幸福がやってくる」という意味になるそう、私もあやかうと早速鮮やかな紅色のさかさまの「福」の飾りを購入しました。

上海でのこんなお正月のひとつこまを垣間見て、私はまたひとつ上海の人々の暮らしに親近感を覚え、上海が好きになりました。中国と日本の交流が結ばれてから35年となる今年は、「中日文化・スポーツ交流年」と銘打ってさまざまな中日交流が行われています。上海では、6月に日本映画週間が開催され、13本の邦画が上映されました。

上海は、鹿児島から1時間半のフライトで行ける「おとなりさん」です。上海と鹿児島の人々が互いに交流して相互理解を深め、今以上にもっと近い存在になればと思います。これからも、この上海の地で微力ながら鹿児島アピールを続けていきますので、皆さんもぜひ上海の人々の暮らしや文化を体験するために上海にお越しください。お待ちしております。



▲縁起物、「福」の飾り。

## PRESENTS

### プレゼントコーナー

### 「鹿児島の上物語」

県内各地の「スペシャル」な逸品をプレゼントします。

川辺仏壇の彫刻技術でつくった彫り物(田の神様やお地藏様)2点、木地の技術でつくった八角盆2点の中から1点を4名様にプレゼント(賞品はこちらで選定します)。



磨崖仏やかくれ念仏など、昔から仏教と密接な関係があった川辺町。この地で作られる川辺仏壇は、豪華さと堅牢さをあわせもつ仏壇として定評があります。木地、宮殿、彫刻、金具、蒔絵、塗装、仕上げという7工程に分類され、ほとんどが手作業で行われます。

【鹿児島県川辺仏壇協同組合】

〒897-0215 川辺郡川辺町平山6140-4  
TEL 0993(56)0240 FAX 0993(56)5963

○応募方法/ハガキまたは電子メールに「グラフかごしま」に関するご意見・ご感想、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号をご記入の上、下記までお送りください。いただいた個人情報は、プレゼントの送付以外の目的には利用しません。

※当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

○ハガキ宛先/〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 鹿児島県庁広報課「グラフかごしまプレゼント」係

○メールアドレス/h-kikaku@pref.kagoshima.lg.jp (件名は「グラフかごしまプレゼント」)

【締切】平成19年8月31日(金)必着

## 鹿児島に全国の伝統的工芸品が勢揃い!! 『全国伝統的工芸品フェスタ』開催! 《平成19年11月8日(木)~11日(日)》



「鹿児島ブランドショップ」(県産業会館1階)

お中元に県産品をどうぞ!

### かごしま夏のギフトフェア

平成19年8月10日(金)まで

県内の特産品の問い合わせ、ご用命は

### 鹿児島ブランドショップへ

法人 鹿児島県特産品協会

〒892-0821 鹿児島市名山町9-1

鹿児島県産業会館内

☎099-225-6120 FAX099-223-0755

店休日 第1・3日曜日 ●営業時間 午前9時~午後6時

東京店 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-6-4

千代田ビル3階 かごしま遊楽館内

☎03-3506-9171 FAX03-3506-9172

ホームページURL <http://www.kagoshima-tokusanhin.or.jp>

